

2. 学部授業科目

授業科目名 (英文表記)	南紀熊野の自然 (Nature of Nanki Kumano)		
単位数	2 (学部生のみ)	授業形態	講義
担当教員	古賀 庸憲、此松 昌彦、高須 英樹 (非常勤)		
開講	各回で会場が違います	区分	学部開放科目
実施日・時間	第1回 5月13日(土) 11:00~16:00	第5回 7月22日(土) 11:30~16:10	
	第2回 5月27日(土) 11:00~16:00	第6回 8月19日(土) 11:00~16:00	
	第3回 6月24日(土) 11:00~16:00	各回で昼休みを40分程度とります	
	第4回 7月15日(土) 11:00~16:00		
【授業の概要・ねらい】			
この授業は串本町から田辺市にかけての沿岸部などの丘陵部、海岸付近の地形・地質、植生(粘菌を含む)、海岸周辺の海の生物に焦点をあてて、地域の自然特性などを学ぶ。黒潮の影響を受けている紀伊半島枯木灘海岸は、串本町ではラムサール条約湿地としてサンゴなどの熱帯性生物が存在し、地形的には海岸段丘が発達して、崖にはジオサイトであるフェニックス褶曲が見られるなどします。波食台に多様な磯の生物を観察することで、黒潮による多様な自然について理解できるようになることを目標とします。			
【授業計画】			
第1回 田辺市ひき岩群周辺の自然 (高須(非常勤)・此松) ひき岩群の地形・地質を観察し、照葉樹の植生や他の生物を学ぶ。ふるさと自然公園センターも見学する。			
第2回 すさみ町江須崎、枯木灘(フェニックスの褶曲)周辺の自然 (高須(非常勤)・此松) すさみ町は枯木灘海岸で知られ、海岸段丘が発達している。ここでは江須崎で亜熱帯植物を観察し、黒潮の影響を考え、南紀波食崖のフェニックスの褶曲を観察し、付加体の堆積物について学ぶ。			
第3回 白浜町番所山での粘菌などの自然 (此松・高須(非常勤)・GS:川上 新一(和歌山県立自然博物館)) 自然環境が豊かな場所で、亜熱帯植物や南方熊楠の研究で有名な粘菌も観察できる。ここでは南方熊楠記念館も見学する予定。			
第4回 田辺市鳥巣半島の自然 (古賀・高須(非常勤)) 半島には照葉樹林が見られ、ため池が多く、びわなどの栽培が知られている。また天然記念物の泥岩岩脈が存在していることで知られている。干潮時にコアマモが現れる干潟には多様な生物が生息するので干潟生物の観察も行う。			
第5回 串本町のラムサール条約湿地のサンゴを学ぶ (古賀・GS:串本海中公園) 串本町の海では黒潮の影響を受けて、多様なサンゴや熱帯魚を観察することができる。そこで串本海中公園に入館して、ラムサール条約湿地である海の自然を見学する。			
第6回 白浜町番所山公園の磯生物 (古賀・GS:中野 智之(京都大学瀬戸臨海実験所)) 番所山公園の周辺には磯が発達しており、多くの磯生物や海岸植物が生育している。これらを観察して磯生物の多様性について学ぶ。			
【到達目標】 南紀熊野の沿岸の地形・地質、海岸植生(粘菌含む)、磯の生物を総合的に学び、自然度の高さ、人間が関与した里山の自然と比較して、保全すべき自然について理解できる。			
【成績評価の方法・基準(学部生のみ)】 各回でレポート課題を出して提出してもらう(90%)。受講生の現地での態度(質問や意見などのやり取り)10%で行う。			
【教科書】 特になし 資料は随時紹介します。			
【参考書・参考文献】 特になし。			
【履修上の注意・メッセージ】 各回ともフィールドでの観察を含みます。そのためそれぞれ最寄り駅の集合になります。最寄り駅、服装等、持ち物など詳細は南紀熊野サテライトホームページや事前にメールや郵送等でお知らせします。南方熊楠記念館や京都大学白浜水族館、串本海中公園の入園料等は有料で自己負担になります。また大学生では学研倍の加入、怪我等の対応のために保険料を徴収します。野外に出られない雨天の場合は、屋内での講義になる可能性があります。			
【履修する上で必要な事項】 特になし。			
【授業時間外学修についての指示】 南紀熊野地域の自然に関する情報などを、ホームページ等で調べて、事前にどんな生物が生育しているのか、どんな地質・地形をしているのかを予習しておいてください。			